（別表）

# 令和７年度 地方公共団体から応募のあった「地域が抱える課題」

| 番号 | 団体名 | 分野名 | 地域課題の概要 | 期待する解決策 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 有田市 | 防災<br>農林水産業<br>スマートシティ<br>その他<br>（高齢者支援） | ・防災行政無線についてアナログ方式からデジタル方式に更改したことをきっかけに、２年前に防災ラジオを廃止し、防災アプリの運用を始めた。しかしながら、スマートフォンを持たない高齢者から、放送が聞こえにくいので何とかしてほしいという要望が相次いでいる。このことから、高齢者でも利用しやすいデジタルでの情報発信を実現するため、タブレット端末の配布やインターネット環境の整備を検討しているが、特にインターネット環境の整備(Wi-Fi ルータの貸与等)については、利用台数が増えれば運用コストも増大するため、既存の防災行政無線柱を活用し、市内のほぼ全域をカバーする無線ネットワーク網を構築することで、高齢者への情報発信以外にスマート農業や高齢者見守り等にも活用することを検討しているが、通常の Wi-Fi では広範囲に電波を届けられない、遮蔽物があれば届かないなど様々な課題があり、検討が進まない状況である。<br>【有田市防災ホームページ】<br>https://www.city.arida.lg.jp/kurashi/bosai/index.html<br>（課題）<br>①防災行政無線の更改により戸別受信機を回収したことで、放送が聞こえにくくなった。<br>②Wi-Fi ルータの貸与はコストが高く、また住民間の不公平感につながるので、避けたい。<br>③既存の防災行政無線柱の活用では、広範囲に電波を届けられない。 | ・Wi-Fi やその他様々な無線技術(Wi-Fi HaLow や LPWA、地域 BWA 等)を活用し、有田市の規模に応じたインターネット環境の整備について、ご提案いただきたい(実証ベースでも可)。併せて、国の補助事業の活用や Wi-Fi ルータの配布(200 台想定)との運用コストの比較をお願いしたい。<br>もしくは課題①～③のいずれかの解決策の提案でも可。<br>①スマートフォンを持たず防災アプリを利用できない高齢者への情報伝達手段の確保<br>②インターネット環境の整備方法<br>③既存の防災行政無線柱の活用による解決方法<br>その他、広く ICT ソリューションも募ります。 |